

「規約」についてのFAQ

● なぜ規約をつくるか？

新システム移行時の図書整理で、70冊余りの図書が紛失していることが明らかになりました。大切な図書をこれ以上失わないために、貸出点数の上限、返却期限、紛失の際の弁償の責任などを利用規約に明記しました。

● 返却期限「4 授業日」とは？

- (1) 10月3日に借りた場合の返却期限は10月31日。
- (2) 7月25日に借りた場合の返却期限は、夏休みをはさむため9月26日。

● 図書カードを忘れたらどうなるか？

図書カードを忘れても、3回目までは図書を借りることは可能です。しかし、その場合日直者の事務負担が増えたり、手続きに時間がかかり混雑をきたす原因になるため、図書カードは毎回忘れないように持参してください。

● 図書カードに飾りつけてしまったが返さなければならないか？

よごれや飾りのない、再利用可能な状態のカードは、退学時に生徒担当の運営委員に渡してください。

● 図書の延滞や紛失を防ぐための対策は？

サービスとして、返却期限の過ぎた本に関しては、催促のeメールが自動的に利用者に送られる設定をしています。また、OPACのアカウントで借りた本、返却日を頻回にチェックしてください。

● もし弁償となったとき、どのように図書を購入すればいいのか？

図書委員に本のタイトルや出版社などの詳細な情報を得て、ご自分で同一の図書を購入していただきます。

● 同一の図書が見つからない、金額が高額など購入が難しい場合はどうすればいいのか？

図書委員にご相談ください。

● OPACの役割は？利用者が心がけなければならないのは？

図書室は、OPACの貸出返却データを基本として運営されています。本は返却したのに、OPACの画面上ではまだ「未返却」のままになっている、などのミスをできるだけ防ぐためにも、各自自宅などからアカウントを確認するなど、ご協力ください。

● アカウントのチェックのしかた

補習校のウェブサイトの図書室のページ (<http://www.mnjs.org/library>) にリンクがあります。ユーザーIDとパスワードは、どちらもカードの個人番号に設定されています。パスワードは後日ご自分で変更できます。OPAC上の貸し出しデータの間違いを発見された場合は、すみやかに図書委員までお知らせ下さい。また、日直当番として貸出返却業務にたずさわる方は、十分に注意を払って処理していただくよう、みなさんのご協力をお願いします。



ミネソタ日本語補習授業校は、入学および運営に際しては差別を排除するものとし、通常本校の生徒に与えられ、利用できる権利、特典、プログラム、活動の全てにおいて、生徒の人種、皮膚の色、国籍および民族等により差別を行わないものとします。

The Minnesota Japanese School admits students of any race, color, national and ethnic origin to all the rights, privileges, programs, and activities generally accorded or made available to students at the school. It does not discriminate on the basis of race, color, national and ethnic origin in administration of its educational policies, admissions policies, scholarship and loan programs, and athletic and other school-administered programs. Please contact the originator or the board members, if you have any question or problem of understanding Japanese contents.